

## 令和 2 年度 草津市立クリーンセンター年間報告書

令和 2 年度のクリーンセンターへ搬入されたごみ量や運転状況等については、以下のとおりであった。

### 1 ごみの搬入量

令和 2 年度にクリーンセンターへ搬入されたごみ量は 38,743.72t で、令和元年度の 39,127.53t と比較すると、0.98%の減となった。

内訳を見ると家庭系ごみは 3.88%の増、事業系ごみは 10.16%の減であった。

#### 【ごみ搬入量】

		令和 2 年度	令和元年度	対前年度比
年 間	合 計	38,743.72 t	39,127.53 t	▲0.98%
	家庭系	26,582.08 t	25,589.87 t	3.88%
	事業系	12,161.64 t	13,537.66 t	▲10.16%

#### 【市民 1 人 1 日当たりのごみ量】

市民 1 人 1 日当たりのごみ量を昨年度と比較すると 1.57%の減となった。

令和 2 年度	令和元年度	対前年度比
781.42 g	793.91 g	▲1.57%

※ $38,743.72\text{t}/365\text{日}/135,839\text{人}\times 1000\times 1000 = 781.42\text{g}$

\*参考\*

(国の定義に合わせた 1 人 1 日当たりのごみ排出量)

国の定義に合わせ、ごみ搬入量に資源回収量(集団回収)を含めた 1 人 1 日当たりのごみ排出量を算出すると、次のとおりとなる。

1 人 1 日当たりのごみ排出量 =  $(38,744 + 2,586)\text{t}/135,839\text{人(住基人口 R2 年 10 月 1 日)}/365\text{日}\times 1000\times 1000 = 834\text{g}/\text{人}\cdot\text{日}$  (令和 2 年度)

参考 (国の定義に合わせた令和元年度の実績)

1人1日当りのごみ排出量 (g/人・日)	全 国	滋 賀 県	草 津 市
	918	837	859

※ 環境省 {一般廃棄物の排出及び処理状況等(令和元年度)} のデータ。

※ 現時点で発表されている環境省の最新データは令和元年度のものである。

### 【ごみ搬入量の最大月および最小月】

ごみ搬入量が最も多かった月は5月、最も少なかった月は2月であった。

ごみ種ごとの最大月・最小月は、下記のとおりとなった。

ごみ種	最大月	最小月	ごみ種	最大月	最小月
焼却ごみ類	12月	2月	陶器・ガラス類	5月	2月
プラスチック製容器類	3月	10月	乾電池	12月	8月
ペットボトル類	8月	2月	蛍光管	12月	6月
空き缶類	5月	2月	粗大ごみ	5月	1月
飲・食料用ガラスびん類	5月	10月	古紙類	5月	7月
破砕ごみ類	5月	2月			

### 1-1 焼却ごみ類 (事業系一般廃棄物含む)

焼却ごみ類の搬入量は32,706.20tで、前年度と比べ2.68%の減となった。

内訳を見ると家庭系ごみは2.37%の増、事業系ごみは10.18%の減であった。

### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
合 計	32,706.20t	33,607.38t	▲2.68%
家庭系	20,552.24t	20,076.14t	2.37%
事業系	12,153.96t	13,531.24t	▲10.18%

## 1-2 プラスチック製容器類

プラスチック製容器類の搬入量は1,047.19tで、前年度と比べ4.18%の増となった。

### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	1,047.19t	1,005.21t	4.18%

## 1-3 ペットボトル類

ペットボトル類の搬入量は313.23tで、前年度と比べ4.10%の増となった。

### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	313.23t	300.89t	4.10%

## 1-4 空き缶類

空き缶類の搬入量は253.27tで、前年度と比べ9.12%の増となった。

### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	253.27t	232.11t	9.12%

## 1-5 飲・食料用ガラスびん類

飲・食料用ガラスびん類の搬入量は736.50tで、前年度と比べ7.31%の増となった。

### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	736.50t	686.36t	7.31%

## 1-6 破碎ごみ類

破碎ごみ類の搬入量は837.61tで、前年度と比べ12.12%の増となった。

### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	837.61t	747.09t	12.12%

### 1-7 陶器・ガラス類

陶器・ガラス類の搬入量は 343.12t で、前年度と比べ 12.02%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	343.12t	306.31t	12.02%

### 1-8 古紙類

古紙類の搬入量は 1,226.00t で、前年度と比べ 12.82%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

		令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	古紙類	1,226.00t	1,086.64t	12.82%
	(新聞・広告)	345.52t	333.96t	3.46%
	(雑誌・雑紙)	409.32t	383.58t	6.71%
	(段ボール)	471.16t	369.10t	27.65%

### 1-9 乾電池

乾電池の搬入量は 25.90t で、前年度と比べ 13.60%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	25.90t	22.80t	13.60%

### 1-10 蛍光管

蛍光管の搬入量は 10.88t で、前年度と比べ 13.57%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

	令和2年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	10.88t	9.58t	13.57%

## 1-11 粗大ごみ

粗大ごみの搬入量は 1,243.82t で、前年度と比べ 10.74%の増となった。

平成 30 年度から持ち込み可能日を月曜～土曜日、祝日の午前・午後に拡大したことや粗大ごみ処理料金を持ち込みに限り、点数制から従量制へ移行し、処理料金が安価となったことが影響し、引き続き持ち込みが増加したものと推測する。

内訳を見ると家庭系ごみは 10.69%の増、事業系ごみは 19.63%の増であった。

### 【粗大ごみ搬入量】

	令和 2 年度	令和元年度	対前年度比
合 計	1,243.82t	1,123.16t	10.74%
家庭系	1,236.14t	1,116.74t	10.69%
事業系	7.68t	6.42t	19.63%

### 【粗大ごみ収集件数】

#### 1) 予約申し込みによる収集件数（実績）

	令和 2 年度	令和元年度	対前年度比
委託収集件数	7,754 件	6,050 件	28.17%
委託収集点数	16,521 点	13,346 点	23.79%

(参考) 事前予約申し込み件数 8,753 件(電話 5,977 件、ネット 2,776 件)

#### 2) 直接持ち込み件数

	令和 2 年度	令和元年度	対前年度比
家庭系	20,407 件	18,358 件	11.16%
ボランティア清掃	10 件	2 件	400.00%
特例措置	12 件	26 件	▲53.85%
不法投棄	56 件	72 件	▲22.22%
災害ごみ(火事ごみ)	1 件	24 件	▲95.83%
事業系	48 件	67 件	▲28.36%
市役所	14 件	7 件	100.00%
合計	20,548 件	18,556 件	10.74%

粗大ごみの事前予約による収集件数は、前年度と比較すると 28.17%の増となった。同じく家庭系の粗大ごみのクリーンセンターへの直接持ち込み件数は、前年度と比較すると 11.16%の増となった。

## 2 ごみの資源化

令和 2 年度にクリーンセンター施設内で資源化したごみの量は 4,202t であった。

### 【クリーンセンターでのごみの資源化量】

	資源化量
令和 2 年度	4,202t
令和元年度	3,825t

注) 町内会等が実施している資源回収分は、含まず。

令和 2 年度市内で、資源として集団回収した古紙・古布等は 2,586t であった。

### 【町内会等が実施している資源回収量】

	資源化量
令和 2 年度	2,586t
令和元年度	3,197t

### 【市外排出ごみ量、および資源化量実績（市町村協議したもの）】

市外へ搬出したごみ量は、1,092t で、その内資源化量は、1,086t であった。

	市外搬出量	市外資源化量
令和 2 年度	1,092t	1,086t
令和元年度	1,176t	1,169t

**【総ごみ量と総資源化量】**

	総ごみ量	総資源化量
令和2年度	42,510t	7,962t
令和元年度	43,637t	8,329t

※総ごみ量＝ クリーンセンター搬入ごみ量＋資源回収量(町内会等)  
 ＋市外ごみ搬出量＋市内刈草発生量

※総資源化量＝クリーンセンターで資源化した量＋資源回収量(町内会等)  
 ＋市外搬出ごみの内資源化した量＋市内で刈草を堆肥化した量

**【ごみ資源化率】**

	令和2年度	令和元年度
資源化率	18.7%	19.1%

資源化率 ＝ 総資源化量／総ごみ量

※ 草津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画(平成30年4月改訂版)における

令和3年度 目標値 24%

**2-1 金属**

破碎ごみ類、粗大ごみや空き缶類から出た金属の資源化量は次のとおりであった。

**【資源化量】**

	スチール (破碎)	アルミ (破碎)	くず鉄	電線	空き缶	合計
令和2年度	79.09t	7.93t	437.36t	6.88t	258.06t	789.32t
令和元年度	64.75t	6.39t	385.16t	6.68t	235.52t	698.50t

※金属類の買受業者に譲渡し、資源化。

## 2-2 びん類

飲・食料用びん類の資源化量は、次のとおりであった。

### 【資源化量】

	無色	茶色	その他	合計
令和2年度	353.51t	195.67t	167.28t	716.46t
令和元年度	322.18t	199.89t	139.01t	661.08t

※無色および茶色びんは、リサイクル(カレット)工場に譲渡し資源化。

※その他の色のびんは、(公財)日本容器包装リサイクル協会を通じて資源化。

## 2-3 プラスチック、ペットボトル

容器包装プラスチック、ペットボトルの資源化量は次のとおりであった。

### 【資源化量】

	容器包装プラスチック	ペットボトル
令和2年度	1,003.95t	287.76t
令和元年度	930.86t	275.95t

※容器包装プラスチックとペットボトルは(公財)日本容器包装リサイクル協会を通じて資源化。

## 2-4 乾電池、蛍光管

乾電池、蛍光管の資源化量は、次のとおりであった。

### 【資源化量】

	乾電池	蛍光管
令和2年度	27.43t	9.87t
令和元年度	25.80t	9.63t

※乾電池・蛍光管の処理業者に委託し、資源化。

## 2-5 古紙類

古紙類（新聞・広告、雑誌・雑紙、段ボール）の資源化量は、次のとおりであった。

### 【資源化量】

	新聞・広告	雑誌・雑紙	段ボール	合計
令和2年度	345.52t	409.32t	471.16t	1,226.00t
令和元年度	333.96t	383.58t	369.10t	1,086.64t

※古紙の買受業者に売却し、資源化。

注) 町内会等が実施している資源回収分は、クリーンセンターに搬入されないことから、上記の量には含まれていない。

## 2-6 小型家電

小型家電の資源化量は、次のとおりであった。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づく資源化。

	制度対象品目	制度対象品目 (フロン入り)	特定対象品目
令和2年度	136.71t	0.28t	2.54t
令和元年度	120.16t		16.64t

※小型家電の資源化は、平成30年度から実施。

※制度対象品目：通常家庭で使用する電気機械器具。（電子レンジ、掃除機等）

※特定対象品目：電気機械器具の内、資源性と分別のしやすさから特にリサイクルすべき品目として国がガイドラインで指定するもの。  
（携帯電話、ラジオ、デジタルカメラ、ゲーム機等）

※ガイドライン：「使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン」

## 2-7 特定家電

特定家電の資源化量は、次のとおりであった。

### 【資源化量】

	家電4品目
令和2年度	1.46t

※特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）に基づき資源化。

## 2-8 処理困難物

処理困難物・再資源の資源化量は、次のとおりであった。

### 【資源化量】

	再資源（廃タイヤ）
令和2年度	0.12t

※販売店を通じて資源化。

## 3 草津市の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の減量化目標値

令和2年度における一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の減量化目標に掲げる数値は、下記のとおりであった。

※ 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の最終目標年次：令和3年度（平成33年度）

### 【1人1日当りの家庭系ごみ排出量（資源ごみ除く）】

令和2年度実績	令和3年度（平成33年度）目標値
463 g / 人・日	430 g / 人・日

### 【1人1日当りに換算した事業系ごみ排出量】

令和2年度実績	令和3年度（平成33年度）目標値
245 g / 人・日	285 g / 人・日

### 【リサイクル率】

令和2年度実績	令和3年度（平成33年度）目標値
18.7%	24%

#### 4 発電実績

令和2年度焼却炉その他の、各種発電実績および売電料金等は次のとおりである。

○ごみ焼却炉による発電量等

発電量 (焼却炉) kWh	売電量 (関西電力) kWh	買電量 (関西電力) kWh	クリーン センター 消費電力量 kWh	ごみ焼却量 t	売電料金 (関西電力) 円
20,700,040	14,700,198	110,558	6,125,180	34,383.50	180,799,275

※ごみ焼却量 1t 当たりの発電量(602kwh/t)、売電料金(5,258 円/t)

○その他の発電量(売電対象外)

太陽光 kWh	ガスエンジン kWh
12,440	2,340

#### 5 見学者

令和2年度のクリーンセンター見学者は、市内の小学4年生や市内外の個人・企業など36団体、延べ1,425人であった。

【クリーンセンター見学者数】

	団体数	人数
令和2年度	36 団体	1,425 人
令和元年度	107 団体	3,267 人

## 6 環境管理

令和2年度における排ガス中のばいじん・硫黄酸化物・窒素酸化物・塩化水素、水銀及び排ガス・焼却灰中のダイオキシン類の測定結果並びにごみ質調査結果は、次のとおりでいずれも基準値以下であり、適正に処理された。

### 6-1 排ガスの測定結果

#### 【排ガス測定結果（年平均）】

	単位	基準値 (法)	自主 基準値	令和2年度	令和元年度
ばいじん	g / N m <sup>3</sup>	0.08 以下	0.02 以下	0.001	0.0012
硫黄酸化物	(SO <sub>x</sub> ) K 値	8.76 以下	0.2 以下	0.015	0.013
窒素酸化物	(NO <sub>x</sub> ) ppm	250 以下	80 以下	44	45
塩化水素	(HCL) mg / N m <sup>3</sup>	700 以下	130 以下	7.6	6.46
水銀	μ g / N m <sup>3</sup>	50 以下	50 以下	0.54	0.3 未満

### 6-2 ごみ質（焼却ごみ）の調査結果

#### 【ごみ質（年平均）】（ごみの3成分）

	令和2年度	令和元年度
可燃分	55.07%	53.71%
水分	37.37%	40.85%
灰分	7.56%	5.44%

#### 【ごみ質（年平均）】（ごみの種類別組成）

	令和2年度	令和元年度
厨芥類	4.20%	6.04%
紙・布	55.09%	56.36%
木・竹・わら類	9.31%	7.21%
プラスチック類	28.39%	27.66%
不燃物類	0.85%	0.54%
その他	2.16%	2.19%

### 6-3 ダイオキシン類の分析結果

#### 【排ガス中のダイオキシン類分析結果】

	単位	基準値 (法)	自主 基準値	1号炉	2号炉
令和2年度	ng-TEQ/N m <sup>3</sup>	1	0.1	0.00000065	0.0012
令和元年度				0.00017	0.000012 0.00000052 ※

※滋賀県立ち入り調査時の測定値

#### 【焼却灰中のダイオキシン類分析結果】

	単位	基準値 (法)	1号炉	2号炉
令和2年度	ng-TEQ/g	3	0.0020	0.0010
令和元年度			0.000022	0.000072

#### 【飛灰中のダイオキシン類分析結果】

	単位	基準値(法)	飛灰
令和2年度	ng-TEQ/g	3	0.38
			0.19
			0.63
			0.69 ※
			0.21
令和元年度	ng-TEQ/g	3	0.25
			0.25
			0.22
			0.26 ※
			0.17

※滋賀県立ち入り調査時の測定値

資料

令和2年度年間報告

◆ごみ搬入量 (単位:t)

クリーンセンターへ搬入された総ごみ量

38,743.72

【内訳】

1 家庭系ごみ

ごみ種	処理方式	委託搬入	持込搬入	合計	搬入日数	日平均搬入量	ごみ量割合
焼却ごみ類	焼却	20,198.23	354.01	20,552.24	322	63.83	77.32%
プラスチック製容器類	資源化	1,046.28	0.91	1,047.19	275	3.81	3.94%
ペットボトル類	資源化	312.54	0.69	313.23	247	1.27	1.18%
空き缶類	資源化	250.81	2.46	253.27	253	1.00	0.95%
飲・食料用ガラスびん類	資源化	733.83	2.67	736.50	259	2.84	2.77%
破碎ごみ類	破碎	718.73	118.88	837.61	312	2.68	3.15%
陶器・ガラス類	埋立	306.21	36.91	343.12	277	1.24	1.29%
新聞・広告	資源化	344.71	0.81	345.52	141	2.45	1.30%
雑誌・雑紙	資源化	395.88	13.44	409.32	222	1.84	1.54%
段ボール	資源化	458.99	12.17	471.16	288	1.64	1.77%
乾電池	資源化	25.89	0.01	25.90	56	0.46	0.10%
蛍光管	資源化	10.81	0.07	10.88	106	0.10	0.04%
粗大ごみ	破碎	249.61	986.53	1,236.14	313	3.95	4.65%
家庭系 合計	—	25,052.52	1,529.56	26,582.08	—	87.11	100%

2 事業系ごみ

ごみ種	処理方式	許可業者搬入	持込搬入	合計	搬入日数	日平均搬入量
焼却ごみ	焼却	11,418.47	735.49	12,153.96	310	39.21
粗大ごみ	破碎	—	7.68	7.68	44	0.17
事業系 総計				12,161.64		

◆焼却処理するごみ量および最終処分量 (単位:t)

1 焼却処理するごみ量

32,706.20

2 最終処分量 (フェニックス、他 埋立量)

(単位:t)

	種類	重量	種類	重量	種類	重量	減量率%
フェニックス	灰(焼却灰)	2,727	灰(飛灰)	1,065	不燃物(混ガラ)	372	1-埋立量/ごみ量
その他	処理困難物・他	0.00					89.25
最終処分量合計		4,164.00					

◆再資源化量

(単位:t)

種類	内 訳					合計
	スチール	アルミ	くず鉄	電線	空き缶	
金 属	79.09	7.93	437.36	6.88	258.06	789.32
び ん 類	透明	茶 色	その他(青・黒)			716.46
	353.51	195.67	167.28			
容リプラスチック、 ペットボトル、 乾電池、蛍光管	容リプラスチック	ペットボトル	乾電池	蛍光管		1,329.01
	1,003.95	287.76	27.43	9.87		
古紙	新聞・広告	雑誌・雑紙	段ボール		センターからの 搬出分含む	1,226.00
	345.52	409.32	471.16			
小型家電・ 特定家電	小型家電 (制度対象品目)	小型家電 (特定対象品目)	小型家電 (フロン入り)	特定家電 (家電4品目)		140.99
	136.71	2.54	0.28	1.46		
処理困難物	再資源					0.12
	0.12					
再資源化量合計		4,201.90 <sup>ト</sup>	再資源化率% (再資源化量/ごみ量)			10.85%